



己に厳しく 人に優しく
笑顔 感動 創造

令和3年10月22日

第7号

波佐見町立波佐見中学校

校長 楠本 洋一

10月15日には、本校の文化的な行事の目玉である文化発表会が開催され、波佐見町総合文化会館を中心に、大きな歌声が響き渡り、盛会の内に終了することができました。本年度も、コロナ禍を踏まえ、合唱コンクールを、分散で実施、曲数も自由曲の1曲に限定しました。平日開催にも関わらず、多数の保護者の皆様のご参観もあり、とても嬉しく思います。誠に、ありがとうございました。

今年度は、「届けよう想い！奏でようハーモニー！心の種を花咲かせ！」のスローガンのもと、子どもたちは、体育大会が終わる頃から、本格的に練習に取り組み始めました。その成果は、どの学級も十二分に発揮できたと感じました。保護者の皆様は、いかがだったでしょうか。ご家庭でも、お子様の頑張った姿に、一声をかけていただければ幸いです。

さて、大きな行事が終わる度に、各学級の団結・絆が深まり、子どもたちにとって、教室が、過ごしやすく、心地よい場となっていることを願っています。この環境を意図的に授業等に生かすよう、先生方にも話をしているところです。

感動の文化発表会（合唱コンクールの部）10月15日

子どもたちは、今年度のスローガンを「**届けよう想い 奏でようハーモニー 心の種を花咲かせ**」と決めました。一つ一つの言葉に、想いを込めた表現で、子どもたちの歌声と姿が、目に浮かぶようなスローガンと感じました。このスローガンのもと、各学級では、朝・昼休み・放課後と練習を重ね、目標とする「**ゴールド 金賞**」をめざし、努力をしていました。中学校の合唱を行う上で、難しいことの一つに、声変わり（変声期）があります。思いっきり歌いたいという気持ちとは裏腹に、音程が取れない時期があります。



< 3 - 1 >

3年生になる頃には、心・技・体が揃い、すばらしい歌声を発揮できる時期が来ます。このようなことから、3年生の合唱には、いつも関心が高まるものです。今年度も3年生は、いつもの力を発揮し、すばらしいハーモニーを披露してくれました。さらに今年度は、1, 2年生の活躍に、目を見張るものがありました。想いを歌声に乗せ、気持ちよく歌っている姿が、印象に残りました。**(1, 2年生からも金賞ができました)**

来場された皆様にも、子どもたちの想いと大きな感動が伝わり、文化の秋をご堪能できたことと思います。生徒の皆さんには、心から「すばらしい歌声をありがとう」と感謝しているところです。



< 3 - 2 >



< 3 - 3 >

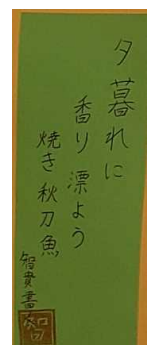
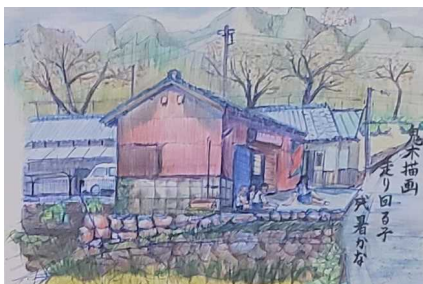
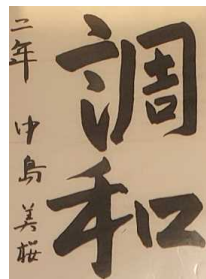
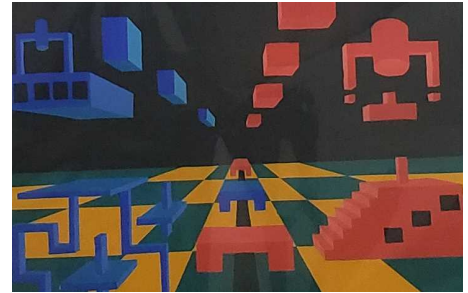


< 3 - 4 >

波佐見中学校の文化発表会は、展示発表もすばらしい

波佐見中の文化発表会は、「合唱コンクール」が主役のように思われがちですが、展示発表にも力を入れています。各教科の授業で取り組んだ作品や自主研修の作品等も、すばらしいものがたくさん展示されました。一部を写真で紹介いたします。

(本校美術科の先生の作品も展示してありましたので、紹介しています。さすが、上手です。)



< 11月の行事予定 >

- 2日 町議会文教委員会訪問 (3-1,3)
- 5日 県中総体駅伝大会 激励会
- 8日 やきもの製造工程体験会 (2年)
- 8日 三者面談 (3年) ~ 16日
- 10日 内科検診 (1-3,4)

- 11日 県中総体駅伝大会 (諫早市)
- 19日 県中文祭東彼杵大会 (東彼杵会館)
- 22日 期末テスト (全学年) ~ 25日
- 30日 町内ふれあい交流会 (中央小学校 10:00 ~ 11:30)